

西日本各府県の農林漁業者様から 大阪の商工業者へのビジネス提案募集!

第2回 農商工連携フォーラムinおおさか

主催：大阪商工会議所

共催：堺商工会議所、東大阪商工会議所、泉大津商工会議所、岸和田商工会議所、貝塚商工会議所、八尾商工会議所、豊中商工会議所、池田商工会議所、泉佐野商工会議所、北大阪商工会議所、松原商工会議所、高石商工会議所、箕面商工会議所、和泉商工会議所、大東商工会議所、藤井寺市商工会、摂津市商工会、富田林商工会、島本町商工会、羽曳野市商工会、岬町商工会、能勢町商工会、四條畷市商工会、豊能町商工会

大阪商工会議所および大阪府内24の商工会議所・商工会は、西日本の農林漁業者様と大阪の商工業者 とが、府県をこえて出会い、農商工連携のきっかけをつかんでいただく場「農商工連携フォーラムinおおさか（農商工交流会付き）」を開催いたします。（参加無料）

開催当日は、農林漁業者様から、大阪の商工業者に対し、農商工連携につながるビジネス提案を発表していただきます。是非ともこの機会に、大阪の商工業者に、ご自慢の製品の紹介とビジネス提案をしてみませんか！



【応募×切】 平成24年2月10日 応募×切
(ご提案内容を大阪の商工業者約4万社にチラシ送付します)

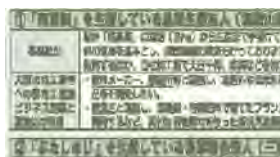
【開催日】 平成24年3月22日(木) 14:00~17:00
(応募者(農林漁業者)様のご都合をふまえて日程決定します)

【開催場所】 大阪商工会議所 (大阪市中央区本町橋2-8)

【応募要件】 ①農業、漁業、畜産業、林業を営む法人、個人、組合、協同組合など。農商工連携につながるビジネス提案ができること。農商工連携の経験は不問。
②「農商工連携フォーラム」開催当日、大阪にお越し頂き、発表(口頭)ができること。

【実施内容】 ①農林漁業者様による農商工連携ビジネス提案(約100名の大阪の商工業者が来場し聴講します)
②農商工の交流会(実際の農産物等を試食して頂くなど、簡易型展示商談会形式での開催を予定)

前回(平成23年3月)の開催結果



6県8者の農林漁業者様から寄せられた提案事項をチラシにし大阪の商工業者3万社に送付しました。

101名もの大阪の商工業者が来場。農林漁業者様の発表を聴講。交流会では農産物の試食も行われました。



<成約事例>

愛媛県の水産業者と大阪府内の老舗フランス料理店が成約を果たし、新メニューならびに大手百貨店向け加工食品として展開。



府県をまたいで成約



百貨店で販売された商品

農商工連携とは……農林漁業者と商工業者が互いの「技術」「知識」「ビジネスノウハウ」等を持ち寄り、有機的に連携して新商品や新サービスの開発、生産、需要の開拓等に取り組むこと。

この用紙のまま 06-6944-6565(大阪商工会議所 流通・サービス産業部)に F A X して下さい

「第2回農商工連携フォーラムinおおさか」(主催:大阪商工会議所) 応募用紙

下記欄にご記入いただきました農林漁業者様のビジネス提案を、大阪商工会議所で取りまとめチラシにし、後日、大阪商工会議所ならびに共催の商工会議所・商工会の会員企業を中心とする約4万社の商工業者に向けて配布します。その案内チラシを見て関心を示す大阪の商工業者が当日来場し、農林漁業者様の口頭発表を聞く(交流会も併催)という仕組みです。

組織・法人名 個人の場合記入不要			
住所	〒		
電話		FAX	
メール		HP	
代表者役職名	代表者氏名(ふりがな)		
担当者役職名	担当者氏名(ふりがな)		
現在の 事業概況			
営農規模			
大阪の商工業者への農商工連携ビジネス提案の概要	記入例：当地方特産果実「〇〇」は、現在、産地で皮を剥ぎ首都圏に出荷している。この皮には虫除け効果があるが現状では殆ど廃棄している。そこで、化学品メーカー等と連携し、皮から有効成分を抽出し、ホームセンター等で販売できる自然由来型の防虫関係商品等をつくりたい。また、果肉も、大阪の食品加工業や飲食店シェフ等と連携し、ドレッシング等に加工して大阪圏の市場に販路を拓きたい。連携にあたり、当法人としても、〇〇〇の面で尽力します。		
提案の農商工連携のタイプ	<input type="checkbox"/> 規格外や低未利用品の有効活用 <input type="checkbox"/> 生産履歴の明確化や減農薬栽培等による付加価値向上 <input type="checkbox"/> 新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大 <input type="checkbox"/> 観光とのタイアップによる販路拡大 <input type="checkbox"/> 新規用途開拓による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上 <input type="checkbox"/> 海外への輸出による販路拡大 <input type="checkbox"/> I Tなどの新技術を活用した生産や販売の実現 <input type="checkbox"/> その他〔 〕		
連携先候補や期待事項	記入例：①有効成分抽出から商品企画・製造までして下さる化学品メーカー、②ドレッシングを試作・製造して下さる食品加工業、飲食店シェフ等、③大手流通業に販路を持つ問屋様など		

- ・ご記入内容は厳重に管理させて頂き、大阪商工会議所の農商工連携関係事業以外の目的では使用しません。
- ・上記内容の一部について、事務局で編集を加えた上で、大阪の商工業者に向けた本事業の案内チラシに転載させて頂くとともに、本事業を周知するための広報媒体(ホームページや報道機関へのプレス発表資料)に記載させて頂きます。
- ・公開不適の事項や秘密事項、特許等の申請予定事項は、記入しない、もしくは差し障り無い範囲・表現にとどめて下さい。

Q：府県をまたいだ農商工連携の事例はあるのでしょうか？

A：まだ少数ですが増加傾向にあります。国の「農商工等連携事業計画」の認定事例では、通算で全体の約15%あります。

Q：大阪の商工業者と連携するメリットは？

A：大阪は、優れた技術力・開発力を有する工業者の集積を誇ると同時に、「食の都・大阪」と称されるように飲食業や食品加工業等も層が厚く、農商工連携のパートナーとなりうる商工業者が量質ともに充実しています。市場規模も大きく、様々なチャンネルの流通業者も揃っています。大阪は農業者が少ないため(食料自給率2%。全国46位)、他府県の“農”への関心・ニーズは高く、今後、府県をまたいだ農商工連携が活発化するポテンシャルを秘めていると言えます。